

宏 偉 食 品

令和元年度 海外産地訪問見学学習会報告

日本生協連CO-OP商品の産地・製造工場見学と、台湾の最新小売業の現状を見学することにより、アジア先進国の流通業を考察します。また、士林夜市や歴史的観光施設の見学など、現地の風土にふれる内容も企画に含めました。

◇日時 令和2年2月4日(火)～6日(木) 3日間

◇場所 COOP冷凍ほうれんそうの圃場及び生産工場
(嘉儀・高雄地区)、台北商業施設施設

◇参加者 8名

トヨタ1名、コープあいち1名、かりや愛知中央1名、愛知県職員1名、南医療1名、トヨタ車体1名、東海コープ1名、連合会1名

現地では専用バスで移動、台湾は車優先？なのか、横断歩道ではまず止まらない。台湾の物価は2割～3割程度安い。大卒の初任給は12～13万円程度とのこと。



到着後、現地の代表的なスーパー2施設を見学しました。1件目は「全聯視察(ピーエックススマート)」、日本の食品スーパーに似ており、1階は食品フロア、2階は衣料・雑貨売場。お客様、従業員すべて(街中の人)がマスクを付けており、今回は参加者も全員マスクをつけることになりました。

南国なのでフルーツが充実しています。
台湾の文字は漢字なので、POPもなんとなく理解できました。
⇒「本店広告」「生鮮包装袋」「店長推薦」など。

果物売場



日本製品も多く扱っていますが、高価な印象でした。

日本の王林りんご1玉89元（約330円）





おでん種のバラ売り



味噌売場

売価の末尾は”9”が多い

ゴールデンキウイ
1個19元
6個99元

生鲜特賣
Zespri 陽光
金圓頭奇異果
單粒 19元
6個 99

生鲜特賣
鳳梨禮盒裝
159

Bake Shop 現烤麵包

Bake Shop

30

2件目は「家楽福(カルフル/台湾に63店舗)」を訪れました。台湾人が日常生活で必要とする食品や衣料、生活雑貨を品揃えしています。1階は飲食店等の専門店が入居し、売場は地下1階と2階で、店舗入口からスロープ式エスカレータで地下2階まで降ります。売場は日本の食品スーパーにホームセンターをプラスしたような売場です。





カルフルは地下2階
までスロープを降りる

1階専門店サイゼリア

衣料品売場、ディスカウント品が多い



マスクは全品売り切れ

台北の士林夜市、雨の平日でも夜市はにぎわっていました。



2日目は、朝7時46分の台湾新幹線で台北から1時間30分かけて嘉義駅まで行き、バスで約40分、COOP冷凍ほうれんそうの圃場を訪れました。

台北

圃場

工場

高雄

台湾新幹線(日本の700系)

圃場の気温は
20度を越えて暖かい

広大な圃場で栽培されており、地元の女性が横一列になって手際よく収穫していました。台湾のほうれんそうは日本のものよりも2倍近く大きいのが特徴。年4回の農薬を実施していますが、種類や使用回数などは委託先の宏偉冷凍食品で管理しています。

収穫前

手作業で収穫

日本のほうれんそうよりかなり大きい

収穫後

その後、高雄市の東に位置する「宏偉冷凍食品」にて生産工場の
見学と試食をさせていただきました。



COOP冷凍ほうれんそうは栽培管理(農薬等)、生産記録、品質管理記録の点検等により栽培から加工までのトレーサビリティを確立しています。ちなみに、検査については収穫前農薬、収穫後農薬、製品前微生物検査を実施しています。

＜製造工程＞



試食では、ほうれんそう以外に主力商品の冷凍枝豆3種類の試食もしました。今回の見学学習会では、日本生協連が生産を委託する生産者の商品の安全安心への取り組み姿勢や、ISO22000、HACCPといった食品安全マネジメントシステムにも積極的に取り組まれていることには大きな安心を感じ、大変勉強になりました。





今回の研修では、台湾の風土にふれる企画として高雄市内の「蓮池潭」、台北の「中正紀念堂」「忠烈祠」を見学し、台湾の歴史を知る良い機会となりました。なお、新型肺炎の影響で、中正紀念堂や昼食場所は、入口で検温と手の殺菌が義務付けられていました。



最終日の午後3時過ぎの飛行機で日本に帰着。空港は比較的
空いており、出国の手続きもスムーズで、飛行機も空席が目立って
いました。新型コロナウイルスに対して細心の注意が必要でしたが、
充実した3日間を過ごすことができました。

